

会 議 録

会 議 名	第57回 野田市史編さん委員会会議
議題及び議題毎の 公開又は非公開の 別	1 令和3年5月から令和4年4月までの活動状況について (公開) 2 令和4年度市史編さん事業計画及び予算について (公開)
日 時	令和4年5月13日(金) 午前10時00分から午前10時45分まで
場 所	中央公民館 1階 講堂
出席委員氏名	委員長 鈴木 有 委 員 飯塚ひとみ 委 員 石田 年子 委 員 上原 初江 委 員 上山 和雄 委 員 北城 昭夫 委 員 米谷 博 委 員 下津谷達男 委 員 山下弘太郎 委 員 染谷 篤 委 員 菅谷 茂美 委 員 溝川 章一
欠席委員氏名	委 員 木原 徹也
事 務 局	大久保貞則(総務部長) 宮崎 等(総務部主幹(兼)市史編さん担当) 宮内友行(総務課主査(兼)市史編さん担当)
傍 聴 者	無し
議 事	
<p>第57回 野田市史編さん委員会会議の会議結果(概要)は、次のとおり。</p> <p>宮崎主幹：本日はお忙しいなか、御出席いただきましてありがとうございます。ただ今から「第57回 野田市史編さん委員会」を開会します。市史編さん委員会設置条例第6条第2項により、半数以上の出席で会議成立となります。本日、木原委員から欠席の御連絡をいただいておりますが、委員12名</p>	

が出席しておりますので、会議が成立していることを御報告します。

会議の公開につきましては、個人情報等（野田市情報公開条例第6条に規定する不開示情報）の不開示情報を取り扱うことはありませんので、公開とします。

なお、審議をいただく案件の中に、個人情報等が含まれる場合には、その都度、委員長から委員にお諮りし、非公開の決定を行います。

また、会議資料及び会議録は、市役所1階の行政資料コーナーに配置し、閲覧できるようにしますので、御了承願います。

次に、資料の確認をお願いします。よろしければ進めます。

最後に、会議の内容は、会議録を作成するために録音しますので、御了承願います。

それでは本委員会委員長である、鈴木有市長より、御挨拶申し上げます。

鈴木委員長：皆様こんにちは。第57回 野田市史編さん委員会の開催にあたりまして、市史編さん委員会委員の皆様には市史編さん事業に対し、御支援・御協力を日頃からいただいておりますことを、御礼申し上げます。ありがとうございます。

今回、3月で退任された鈴木委員の後任として、千葉県立関宿城博物館の米谷博館長に御協力をいただくこととなりました。後ほど委嘱書を交付させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に関しては、最初の頃には「半年位でなんとかなるのでは」、「暖かくなればどうか」、「1年位では」といったことでしたが3年目に入ってしまいました。その間、野田市でもかなりの陽性者の方が出ましたが、ワクチン接種に関しては医師会・歯科医師会等の医療従事者の皆様の協力を得て、他の自治体と比較しても高い接種率となっています。

3回目の接種に関しても65歳以上の方の94%の方が接種されていらっしゃるようですが、64歳以下の方の接種がなかなか伸びない。若い方は陽性になっても症状が軽く無症状の方が多いということもあって、陽性者に30歳代の方が多い。高齢者の方がほとんど陽性になっていないことから、ある意味ワクチンの効果があるのではと考えています。今後は5歳から11歳のこ

どもたちの接種も始まります。大人がお子さんにうつしてしまうこともあり、初めてのことで判断が難しいところですが、強制ではないので、しっかりと把握していただき接種の御判断をお願いしたいと思います。

野田市も4回目接種の準備を進めていますが、接種が進むことだけでは、コロナの完全なる終息は難しいとしても、これまで全てのことを自粛して停止してきたこと、例えばこの市史編さんの活動についても、なかなか思うように行かなかった部分もありますが、早く再開できるようになってほしいと思います。

予算については、コロナ対策による支出も多いので、過去最高額の予算となり、財源の確保が非常に厳しい状況ですが、コロナ禍においても「元気で明るい家庭を築ける野田市」の実現に向けて、創意工夫をしながら野田市政を進めていきます。市史編さん事業につきましても、伝統と文化、歴史のある野田市をしっかりと調査し、これからの人々に継承して行く、皆様もそういったお気持ちを強くお持ちだと思います。地域行事もこれからどういった方向に進め、残して行くべきか、地域の皆様や編さん委員の方々の御知恵も拝借し、御教示をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

宮崎主幹：ありがとうございました。

4月1日付けで1号委員として、新たに関宿城博物館長の米谷博様をお迎えいたしましたので、委嘱書の交付を行います。

《委嘱書の交付・委員紹介》

宮崎主幹：次に、本日は現時点で傍聴者はありませんが、審議途中で傍聴の希望がありました場合は、入室していただくこととなりますので御了承願います。それでは、市史編さん委員会設置条例第6条により委員長が議長となる旨が規定されていますので、委員長に議長をお願いします。

1 令和3年5月から令和4年4月までの活動状況について

鈴木委員長：議事に入ります。議事1として「令和3年5月から令和4年4月までの活動状況について」、事務局から報告願います。

宮崎主幹：（別紙資料により、以下について説明）

- (1) 市史編さん事業実績
- (2) 各専門部会別の活動状況

鈴木委員長：ただ今の報告について、御質問等がございましたら、お願いします。

委員：（委員からの質問・意見等無し）

鈴木委員長：よろしいですか。

委員（複数名）：はい。

委員：（委員からの異議無し）

鈴木委員長：それでは、報告のとおり御了承願います。

委員（複数名）：はい。

2 令和4年度市史編さん事業計画及び予算について

鈴木委員長：次に議事「2 令和4年度市史編さん事業計画及び予算について」でございます。事務局に説明を求めます。

宮崎主幹：（別紙1及び会議次第により、以下について説明）

- (1) 令和4年度市史編さん関係予算の説明
- (2) 令和4年度の各部会別事業計画について
- (3) その他の事業について
 - ①「野田市史研究」(第33号)の刊行
 - ②市史講演会の開催について

鈴木委員長：ただ今の予算説明、事業等について、何か御質問等がございましたら、お願いいたします。

溝川委員：近世・近現代及び地域経済の「筆写」の部分について説明してください。

宮崎主幹：今回の『野田市史研究』の中にも古文書を活字にして掲載していますが、同様に近世や近現代などの史料を『資料編』に掲載するために、担当する専門委員の皆さんに、掲載候補を目録から選んでいただきます。その史料を実際に確認していただき、掲載候補として良いものであれば、それを古文書が読める方に「筆写」に回して、以前は手書きでしたが今はPC入力(活字化)していただきます。戻ってきたものを事務局で古文書と合わせ

て確認した上で担当委員にお渡しし、掲載史料となれば『資料編』等に収録されます。掲載するための候補史料を活字にする作業が「筆写」(筆耕)作業で、編さん作業の中でも大きなウエイトを占めています。

鈴木委員：よろしいですか。その他にございますか。それではないようので、報告のとおり御承認願います。

委員（複数名）：はい。

鈴木委員長：他に何かございますか。よろしいですか。それでは、以上で議事を終了します。委員の皆様には市史編さん事業に対しまして今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

委員（複数名）：ありがとうございました。

宮崎主幹：以上をもちまして、「第57回野田市史編さん委員会」の会議を閉会します。御出席ありがとうございました。